

無所属 市民派(高松市議会議員)

植田 まきの市政ニュース

Http://uetamaki.com

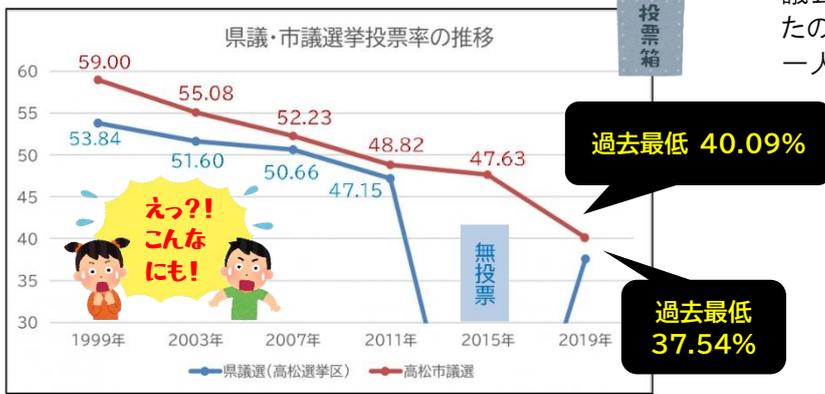
発行: 〒761-8078 高松市仏生山町甲449-2 TEL&FAX 087-889-0747 E-mail maki-u@k5.dion.ne.jp



議員の雇い主はみなさんです！！

～4年に一度の厳しい通信簿を～

下がり続ける投票率に危機感



このように議員特権にあぐらをかき、市民感覚からずれた県議会は、低投票率によって支えられています。こんな議会にしたのが私たちなら、この現状を変えることができるのも私たち一人ひとりが持っているチカラなのです。

まだ続く政治とカネ

現職県議ら20人が、政務活動費を使って地元有権者にお金を配り続けているのは、公職選挙法で禁止されている寄付行為だとして、植田が代表を務める市民オンブズ香川は刑事告発しました。高松地検は不起訴にしましたが、**市民11人**から成る高松検察審査会は「**起訴すべき**」と判断。



←10月24日 NHK



「議員は、法が禁止していることを熟知すべき立場なのに、多数人が違法な寄付行為を繰り返してきた事実は軽視できない」、画期的なものでした。ところが、昨年10月末、地検は再び不起訴とし、今年1月末までには、2回目の検察審査会の判断が出される予定です。

昨年、県議会は、検察審査会の印象を良くしようとしたのか、政務活動費マニュアルの改定を決めましたが、監査委員が議会に要望し続けてきた点も全く無視し、会派共同政務活動費もブラックボックスのままのひどい内容。県民の貴重な税金だという意識がない表れです。

昨年、県議会は、検察審査会の印象を良くしようとしたのか、政務活動費マニュアルの改定を決めましたが、監査委員が議会に要望し続けてきた点も全く無視し、会派共同政務活動費もブラックボックスのままのひどい内容。県民の貴重な税金だという意識がない表れです。



12月15日 NHK→

春には、私たちの生活に一番身近な政治の場である市議会や県議会の議員(＋市長も)を決める選挙があります。

ところが、上のグラフからも明らかなように、身近な議会の選挙の投票率が、選挙を行う度に下がり続けています。とうとう前回の2019年の選挙では、県議選(高松市選挙区)・高松市議選ともに過去最低の投票率を記録してしまいました。このような低投票率によってどんな問題が起きているのでしょうか？

無関心で背中を向けていると…

低投票率の背景には、「議員や議会が何をしているのかわからない」、「私たちには関係ない」といった、政治が身近に感じられない状況があるのかもしれませんが、しかし、政治や選挙に無関心で背中を向けていると、それをいいことに議会や議員は暴走します。

香川県議会では、この間、住民から立て続けに3つも裁判を起こされました。①条例制定過程が非公開のまま成立した違憲の「ゲーム条例」。②全国放送された税金を使った豪華海外旅行。③刑事告発されている政務活動費を使った「金一封」バラマキ事件。②、③の判決は、県議会議員の過半数が法律違反していたことを明らかにしました。



香川県議会議員選挙
高松市議会議員選挙

3月31日告示、4月9日投開票
4月16日告示、4月23日投開票

保護の緩い国の法律に一本化



物価高騰で市民生活が大変なのに
こんな「お手盛り」にはNO!

公務員の給与は、民間企業の正規労働者の給与と毎年比較検討して、国の人事院が8月頃に勧告を出します。この人事院勧告に従うのは、一般職員の話です。しかし、なぜか「人事院勧告に準拠して…」と、議員および市長や副市長などの特別職まで自動的に増額させています。

長引くコロナ禍、物価高騰で市民生活は悲鳴を上げている中、自らの期末手当を第三者機関に諮ることなく増額することは、税金の使い道を決める議会として合理性がなく、許されません。

議員一人当たり36,480円の増になりますが、植田をはじめ4名の議員は受け取り拒否をしています。



教育民生委員会質問より

小中学校の図書購入費、
購入冊数ともに減少

全国学校図書館協議会の調査で、2021年度、全国の小中学校1校あたりの図書購入費が9年前と比較して大きく減っていることが明らかになりました。これを受け、高松市の状況について質すと…

【図書購入費】2013年度 3,276万円→2021年度 2,849万円

【購入冊数】2013年度22,392冊→2021年度 18,189冊

と、同様に減少していることから、予算の充実はもちろんのこと、図書の廃棄や更新についても適切に行うよう求めました。

ポイント

取得は任意にも関わらず、多額の税金をかけて国民に持たせようとしているマイナンバーカード。マイナンバーの利用拡大をめざしている政府は、いよいよ預貯金口座もひも付ける。マイナンバーは、個人が特定できない番号で管理していると言うが、ひも付けられた情報は企業が持っている情報と組み合わせると個人が特定できる。情報漏洩しても、保護の緩い国の法律では個人情報を守ることができない。



総務委員会では議論ゼロ

条例制定において、自治体独自の規定を設けることに国は「許容しない」と否定しているので議論の余地はないと思ったのか、議案が付託された総務委員会では反対意見があっただけで、まったく議論がありませんでした。

植田は、議案質疑を行った上で、個人情報保護制度の画一化は、憲法違反であり、国の個人情報保護法では市民の個人情報を守ることはできないことから反対をしました。



なぜ、市民の声は議会に届かないの??



～6件の市民からの陳情、すべて不採択に～

議案・陳情の賛否の一部	議案	自民党	公明党	市民フォーラム	新政同志会	共産党	市民派
		(19) ※1	(6)	(5)	(5)※2	(2)	(2)
	期末手当アップ	○	○	○	○	×	×
	個人情報保護制度の見直し	○	○	○	○	×	×
陳情	県に種子条例制定を求める	×	×	○	×	○	○
	国に介護保険制度の改善を求める	×	×	○	×	○	○
	国に医療・介護職の処遇改善を求める	×	×	○	×	○	○
	国にインボイス制度の中止を求める	×	×	○	×	○	○
	市に子どものマスク・黙食の見直しを求める	×	○	○	×	○	○
	市に国保料の引き下げを求める	×	×	×	×	○	○

※1 議長を除く数

※2 12月議会時の数

今議会は、市民の方から多くの案件について陳情書が提出されました。陳情とは、市民からの要望を議会に届けるもので、その内容を審査する議会も真摯に向き合わなければなりません。議員にとっては、議会質問と同様、重要な仕事です。

ところが、高松市議会では、陳情が採択されることはほとんどありません。陳情は、各常任委員会に付託されて、審査しま

すが、活発な議論がなされないまま「不採択」となることがほとんどです。上の表で明らかのように、自民党系の2会派はすべての陳情に反対しています。委員会でもあらかじめ意見を書いた紙を読み上げるだけで、陳情者の意見を聞いた上で議員間の活発な議論を行い、市民の声に寄り添うということができていません。皆さん、このような議会をどう思いますか？

県政・県議会
に喝！！

植田まきの挑戦

- 情報公開、県民参加を進めます
予算編成・政策決定に県民の意思を反映
- 不正を許さず、税金のムダ使いを徹底的に見直します
談合をさせない入札制度、外郭団体の見直し等
- 子育て現役世代の視点で教育施策の充実に取り組みます
市議会での取り組みに続き、私費負担の大幅見直し等
- 持続可能な環境、農業を進めます
自然エネルギーの活用、有機農業拡大への支援等
- 県民のための議会に変えます
政務活動費・海外視察のあり方の見直し、質問回数・時間の確保、県民への報告会・意見交換会の開催等

植田まきのスタイル

- どんな圧力にも屈せず県民に情報を届け続けます
これからもしつこく細かく情報発信、報告会の開催
- しがらみのない立場で行動します
政党や利益団体にとらわれず、自分の頭で考えて行動
- 県民目線で活動します
市民感覚からずれた税金の使い方や議員特権に厳しく対応

植田まきの想い

4期16年、議会が終わるごとに「まっきー通信」を休むことなく発行し続けてきました。読んでいただき、本当にありがとうございました。この号をもって、高松市議会議員としてのニュースは最後になります。

27歳の時、初めて市議会に足を踏み入れました。「女のくせに」「若いくせに何ができるんや」と言われ、悔しい思いをしたことが今でも忘れられません。しかし、それまで子どもたちと関わる仕事をしてきた私は、「子どもたちの未来に、今の政治のツケを回してはいけな」と思い、地盤・看板・かばんの何一つない挑戦を決意しました。そして、「市民目線で税金のムダ遣いをなくす」を議員活動の基本として、情報公開の力で問題を見える化しながら、市政のあらゆる課題に取り組んできました。また、市民感覚からかけ離れた議員特権をなくすために声を上げ続けました。

並行して、市民オンブズ活動に携わり、2015年に香川県議会の政務活動費、2017年に海外視察の違法支出について、仲間とともに裁判を起こしました。その過程で感じたのは、不正を繰り返しても説明責任を果たさない県議たちが多数を占め、そんな議員たちに担がれている知事は、県議会に対して厳しいことを言えない構造があるということです。議員特権の上にあぐらをかいている県議会を「住民による住民のための議会」に変えなければなりません。

市議として多くの問題に取り組んできた経験を活かし、県行政と県議会の現状をオープンにし、住民の皆さんとチカラを合わせて改革を実行していきます。これまでの怒りを希望に変えていけるように全力を尽くします。

県政・県議会の改革を…私も応援しています！！



まきさんは正義感の塊。おかしいと思ったことには真正面から声をあげて行動する。ご自身のお子さんもまだ小さい中、よくぞそこまで！とびっくりするぐらい市政を何とかしようとしているのを見せてもらって来た。きっと、ここまでまきさんを突き動かすのは、強い、強い想いがあるから。ニュースのポスティングをお手伝いすると行く先々で「頑張ってるね！応援しているから」という言葉を頂くことが多い。そしていよいよ、まきさんが県議会に新しい風を吹き込む時がやって来た。ワクワクするなあ♪

友だち代表 杉崎 佳代子



8年間、市民派改革ネットとして2人で活動してきました。妥協しない姿勢、何事にも真っ直ぐなまきさんは、わたしにとって目指すべき議員の姿です。悔しいことも辛いこともたくさんありましたが、ふたりで分かち合い、励まし合い、助け合いながら過ごした8年は、わたしの生涯の財産です。

新しいステージで、ますますパワフルに活躍されることを願っています！心から応援しています。まきさん、これからも一緒に頑張りましょう！

高松市議会議員 太田 あゆみ



県議会のチェックをしっかり行い、政務活動費などを見直しさせてきた植田まきさんの県政改革のチャレンジを全面的に応援します。

県議会にまともな議員が1人いれば、市民に情報が届けられ、議会に緊張感が生まれ、大きな変化が生まれます。そのチャンスは、何度も訪れるものではありません。そして、その変化を起こすかどうかは市民の皆さんに判断が委ねられています。

兵庫県議会議員 丸尾 牧



市民の皆さんから寄せられた声や子育ての日常の中で出会った問題をしっかり調査し、議会で粘り強く取り上げて解決に導く…そのまっすぐな情熱は27歳の初当選の時から少しも変わりません。

市民オンブズ香川の代表として県議会の政務活動費や海外視察旅費返還訴訟の先頭に立ってがんばってきたのは、「貴重な税金は住民のためにこそ使われるべき」という信念があるからです。情報公開を進め、県政や県議会の課題を「見える化」して県民の皆さんと一しょに改革を進めましょう！

元香川県議会議員 渡辺 さと子



～絵本でわいわい「主権者教育」♪～

小学校2年生の娘に、「ポリポリ村のみんなしゅしゅぎ」という絵本をクリスマスにプレゼントしました。

この絵本は、冬になるとポリポリ村にやってくるドラゴンを追い払うか、追い払わずに利用するか、どちらかを選択するための村長選挙が行われる、というお話です。選挙の投票先によってストーリーは二つに分かれます。子どもが自ら投票先を選択し物語を進めていくことで、選挙を疑似体験できるように作られています。

選挙の大切さを実感できる素晴らしい絵本だし、何よりも「どうしてそれを選んだのか？」を考え、自分の意見を言って議論するという「議論の仕方」を学ぶことを教えてくれます。

18歳選挙権が実現し、親・大人の主権者学習／教育もまた大きく問われる時代が来ました。まずは、子どもと一緒にこの絵本を読んでみては？



日時	内容	スピーカー
第5回 1/22 (日) 13:30～ 16:45	【第1部】 自治体のおカネのはなし 私たちが納めた税金はどのように使われているの？	井奥 雅樹さん (元兵庫県 高砂市議会議員)
	【第2部】 地方議員選挙の実際 統一地方選に先駆けて行われた昨年夏の選挙から学ぶ最近の動向は？	
第6回 2/12 (日) 13:30～ 16:45	【第1部】 行政チェックのツボ～包括外部監査を活かす～ 外部監査を通して見えた香川県や高松市の課題は？	石川 千晶さん (公認会計士)
	【第2部】 インクルーシブ教育を諦めない！ 障害児が普通学級の子もたちと一緒に学び、遊ぶために政治の役割は？	

※第1回～4回は終了しました。

- 会場 高松市男女共同参画センター 学習研修室
- 参加費 各回 500円、学生無料
- 問い合わせ みどりの政策セミナー 087-813-0715



市民派改革ネット 議会報告会

選挙後になりますが、3月定例会の報告を以下の日程で行います。ご都合のよい方にご参加ください。
(無料／予約不要)

- 【夜の部】4月26日(水)18:30～
@瓦町 FLAG8階市民活動センター会議室
- 【昼の部】4月29日(土・祝)13:30～
@仏生山交流センター(ふらっと仏生山)22会議室

ボランティア 募集中

通信ポスティング、通信を折る・挟むといった単純作業、その他事務所での作業など、空いた少しの時間でも構いませんので、お力をお貸しいただける方がおられましたら、ぜひ下記までご連絡ください。よろしくお祈りします。

【連絡先】090-3788-4746/maki-u@ozzio.jp

植田まき ざっくばらん学習会

3月定例会前に市政や市議会のことについて、ざっくばらんにお話しましょう！いろいろなご相談にも対応します。
(無料／予約不要)

- ★2月26日(日)13:30～
@植田まき事務所
(仏生山町甲449-2/Pあり)
- ★3月1日(水)19:00～
@西内町事務所(西内町 7-25)



活動費収支報告		2022年10月～12月
収入	報酬 (608,000×3)	1,824,000
	期末手当	1,185,600
	計	3,009,600
支出	源泉所得税	726,297
	県市町村民税特別徴収金	150,900
	親睦及び福利厚生活動費	1,500
	国民年金保険料	49,770
	国民健康保険	255,000
	みどり・香川 (20,000×3)	60,000
	まっきー通信発行費	366,080
	議員活動費	252,610
	計	1,862,087
	残高 (植田生活費・活動費へ)	1,147,513

※議員報酬以外に、議会に出席するだけで1日3000円の「費用弁償」(議会出席手当)が支給されていますが、受け取り拒否をしています。

植田まきプロフィール

- ★1975年、高松市仏生山町に生まれ育つ。韓国ドラマ、スポーツ大好き♪
- ★香川大学大学院(教育学修士)修了後、スポーツ指導員や中学校講師(保健体育)を勤める。
- ★2003年、議員インターンシップが転機となり、27歳で最年少高松市議に。一貫して無所属・市民派のしがらみのない立場で議員活動を行う。
- ★2期満了で一旦、議会を離れ、立命館大学公共政策大学院で2年間学んだ後、再び市議に。現在、4期目。

日々の活動はこちら↓



※ひとりでも多くの方に、身近な政治に関心を持っていただきたく、朝の駅頭や昼・夕の街頭、またご自宅にポスティングといったかたちで手配りさせていただいています。お手元にタイムリーお届けできない場合があります。ご了承ください。